

高文連第42回放送コンテスト道南地区大会が 遺愛で開催されました！！

10月26～27日に高文連第42回放送コンテスト道南地区大会が11年ぶりに遺愛で開催されました。9校65名の参加でした。参加生徒数が一番多い学校が函館西高17名で、もちろん6部門（アナウンス、朗読、ラジオ番組、ビデオメッセージ、研究発表、テレビCM）全部に参加していました。市立函館高校と函館大妻高校は参加生徒数5名にもかかわらず全6部門に参加していました。遺愛は8名で全6部門に参加しました。部員数が少ないところは大会にむけての準備が本当に大変だったと思います。でも、努力した部員の皆さんには間違いなく素晴らしい力が身につけてきていると思います。

世界の状況は刻々と変化してきており、次々と生じてくる新しい課題について、前向きに取り組める人間が求められてきています。

思考法、発想法としては、ロジカルシンキングと共にクリエイティブシンキングを養成していくのが大切になっていきます。従来はロジカルシンキング中心でした。物事を整理し、論理的に正解を導き出そうという考え方です。「収束思考」「垂直思考」とも言われます。でもこれからはロジカルシンキングと共にクリエイティブシンキングが重視されます。「枠組みにとらわれないアイデアを生み出す自由な発想」「拡散思考」「水平思考」とも言われます。自ら課題を発見し、それを創造的に解決していく力が必要となってきます。放送コンテストの作品作りのために養われる力はまさにこの力だと思いました。放送コンテストの様子を見ていて、



将来が本当に楽しみだなと感じました。

ちなみに遺愛はNHK杯総合賞3位、朗読部門で最優秀賞・優秀賞・優良賞、アナウンス部門で優良賞2人、ラジオ番組、研究発表、テレビCMで優良賞をとりました。大健闘です。2019年10月28日（月）